

東京湾海況情報 27-3

東京湾水質調査結果（平成27年6月）

（平成27年6月12日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 6/1：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報（6/1）、東京湾口海況図（6/1）
 モニタリングポスト（6/1：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）
 東京都環境局（6/2-3）、国立環境研究所（6/2）

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温（図1）は20～23℃台前半で、内湾から内房北部では平年よりやや高くなっています。塩分はほぼ全域で28～34PSU台前半で、アクアライン以北の海域では平年よりやや高めになっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布（図3）では、内湾中央部（st. 6～J5）の水深15m付近でやや弱い水温、塩分の成層状態がみられています。

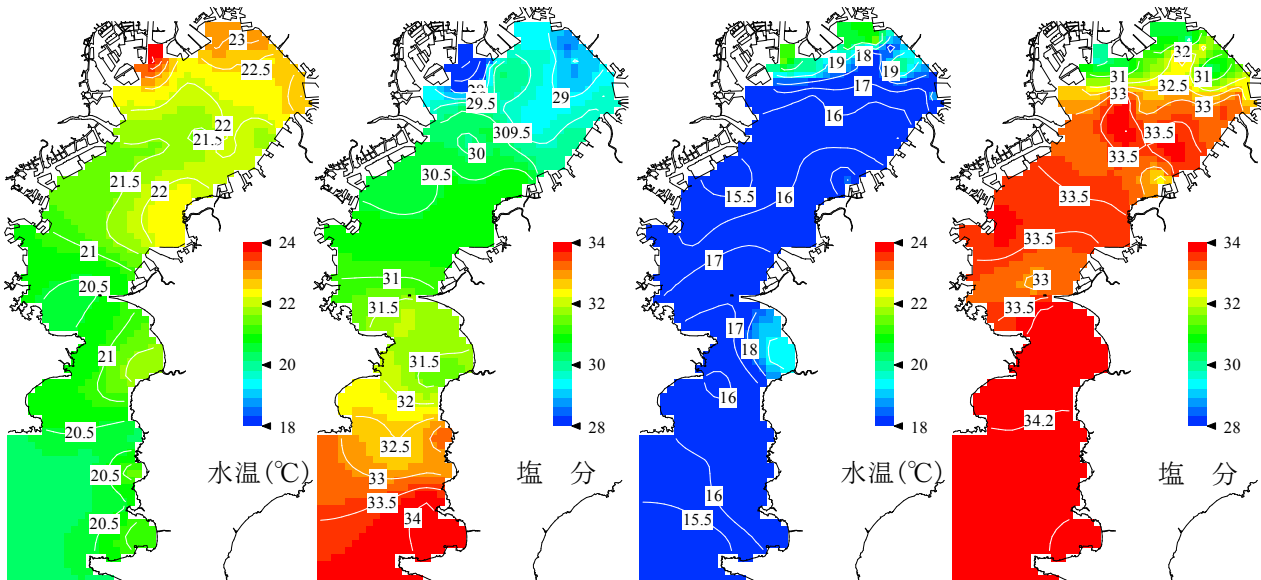


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

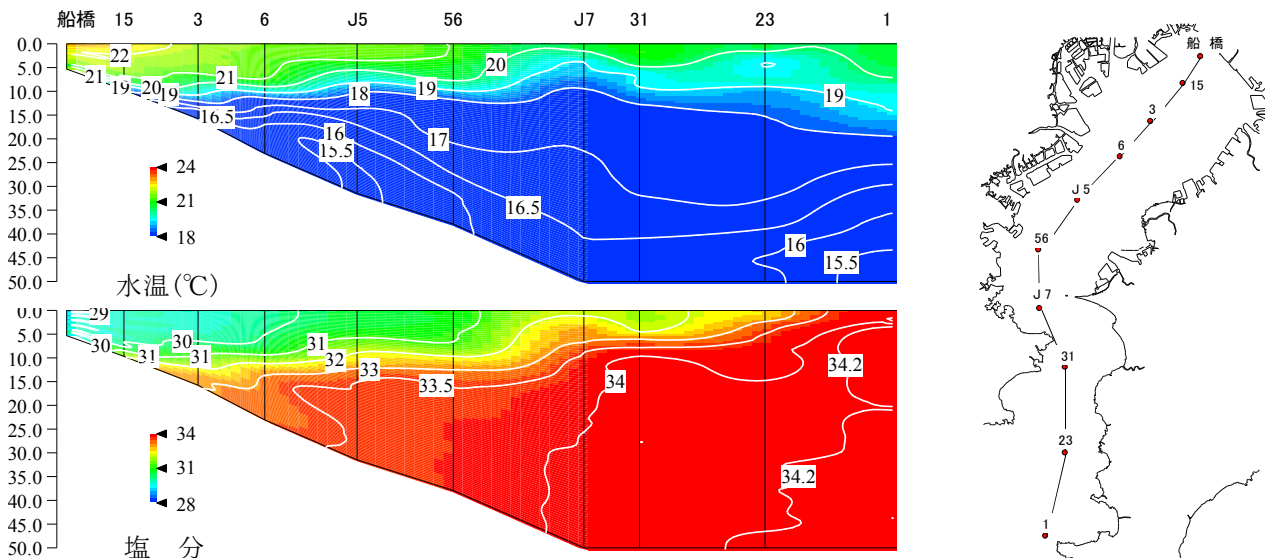


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（上：水温、下：塩分、右：調査ライン）

【 赤潮の状況 】

赤潮は内湾北西部を中心に発生し、pH8.5～8.6、透明度は3mで、水色はやや褐色を帯びる程度の状況でした。

優占種は渦鞭毛藻のケラチウム(*Ceratium furca*)で、その他にパイロファークス(*Pyroohacus steinii*)がやや多くみられました。一方、保田から富浦にかけての周辺海域では、ケイ藻のレプトキリンドルス(*Leptocylindrus danicus*)がみられました。

これらは、いずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。
 色 : オリーブ～褐色
 酸素飽和度 : 150%以上
 透明度 : 1.5m以下
 pH : 8.5以上
 クロロフィルa : 50 μ g/L以上

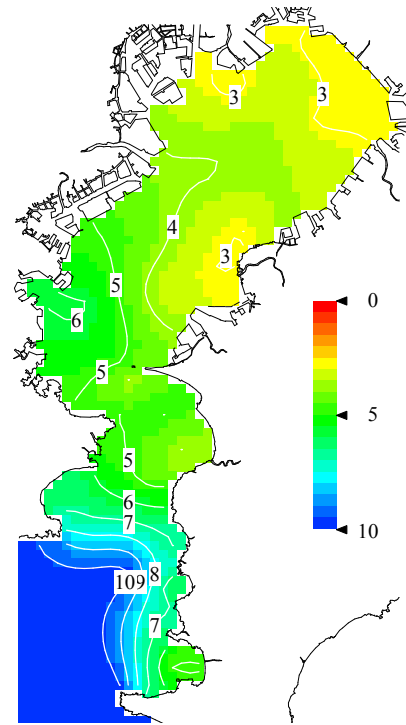


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は北部海域で低下し、1ml/L以下のやや強い貧酸素水塊が千葉県側で広く分布していました。

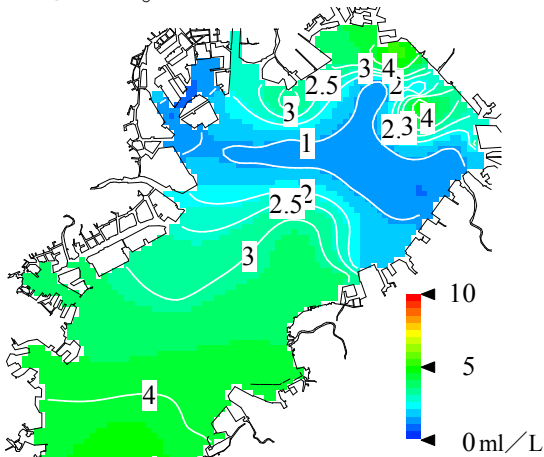


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

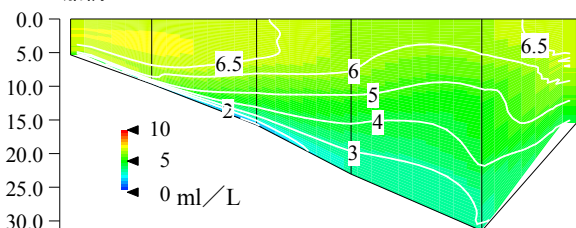


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO_4-P)ともほぼ全域で平年より少なくなっています。

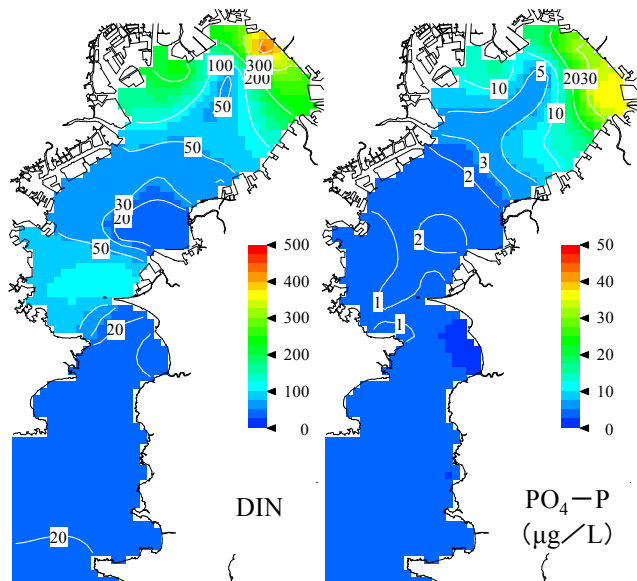


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は5月末頃からD型基調に変わり、その流軸は1日現在八丈島の北側で蛇行し、南下した後、北上しながら、房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

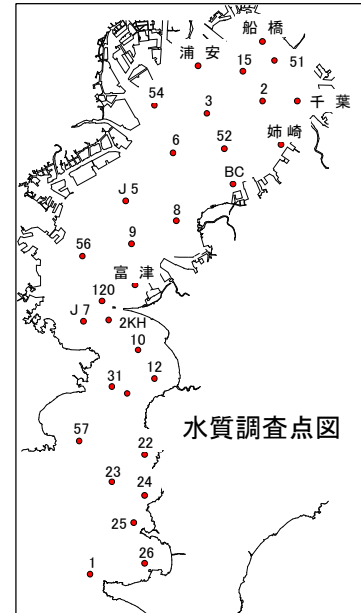
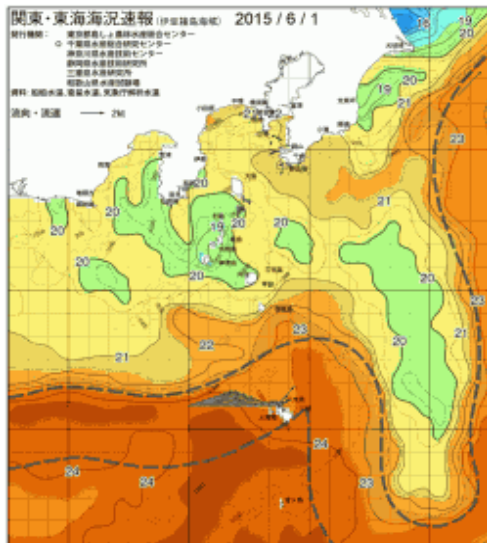


図8 黒潮の動き (平成27年 6月 1日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	22.8 (22.0)	28.66 (27.51)	2.8 (1.5)	8.5 (8.7)	4.6 (2.4)	155 (38)	338 (195)	26 (15)
	st.15	22.5 (22.0)	29.56 (27.22)	3.6 (1.6)	8.6 (8.8)	1.6 (1.7)	62 (73)	68 (234)	6 (14)
	st.3	21.8 (21.4)	29.48 (27.05)	3.9 (1.8)	8.6 (8.7)	0.9 (1.5)	52 (74)	58 (235)	4 (20)
	st.6	21.5 (21.1)	29.77 (28.61)	4.0 (2.2)	8.5 (8.7)	2.7 (2.7)	36 (43)	42 (130)	3 (7)
	st.9	21.6 (20.9)	30.69 (30.24)	3.7 (2.7)	8.5 (8.5)	3.9 (3.6)	14 (20)	17 (74)	3 (4)
	st.BC (盤洲Cブイ)	21.9 (21.4)	30.79 (29.68)	3.7 (2.4)	8.4 (8.6)	3.2 (3.3)	14 (20)	27 (109)	5 (6)
	st.8 (盤洲A南)	22.3 (21.0)	30.66 (30.89)	3.0 (2.6)	8.5 (8.5)	3.6 (3.1)	7 (16)	11 (65)	2 (4)
	富津	20.8 (19.9)	30.90 (30.76)	4.3 (5.3)	8.4 (8.3)	4.0 (3.6)	43 (31)	93 (120)	1 (4)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	20.6 (20.0)	31.74 (31.47)	4.0 (3.8)	8.3 (8.4)		20 (15)	42 (71)	ND (4)
	st.31	20.8 (19.9)	31.73 (31.70)	5.0 (4.4)	8.3 (8.4)		8 (22)	10 (70)	ND (5)
	st.23	20.2 (20.2)	32.53 (32.82)	10.0 (6.9)	8.3 (8.4)		6 (21)	8 (49)	ND (3)
	st.1	20.4 (20.4)	33.93 (33.53)	10.0 (12.0)	8.2 (8.3)		14 (10)	20 (18)	ND (2)
	st.10 (下洲沖)	21.1 (19.7)	31.66 (31.58)	5.0 (4.2)	8.3 (8.4)		15 (12)	18 (54)	ND (3)
	st.12 (湊沖)	21.6 (20.2)	31.46 (31.53)	4.0 (4.2)	8.3 (8.4)		20 (15)	22 (51)	ND (2)
	st.22 (保田沖)	20.2 (20.2)	33.28 (33.20)	7.0 (8.5)	8.3 (8.3)		14 (15)	18 (26)	1 (1)
	st.24 (富山沖)	21.3 (20.3)	32.96 (33.41)	6.5 (8.8)	8.3 (8.3)		5 (11)	7 (15)	ND (1)
	st.26 (館山湾内)	21.1 (20.5)	34.05 (33.55)	5.0 (10.0)	8.2 (8.3)		0 (7)	2 (11)	1 (1)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。